

平成 25 年 11 月 27 日

ふくしま復興塾実行委員会

(事務局: 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター)

福島復興を担う若者向け人材育成プロジェクト 「ふくしま復興塾」

最終発表会(12/14)実施のお知らせ

ふくしま復興塾実行委員会(事務局: 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター)は、福島復興を担う次世代リーダーの育成を目的とし、キリン絆プロジェクト様のご支援によって、2013 年 5 月より「ふくしま復興塾」を開講しています。この度、2013 年 12 月 14 日(土)13:00～16:50 郡山市市民交流プラザ大会議室(福島県郡山市駅前二丁目 11-1 ビッグアイ 7 階)において、最終発表会を開催することとなりました。当日は、初年度の受講生が 8 ヶ月間かけて検討してきたプロジェクト案を発表させていただきます。

また、12 月 7 日(土)13:00～17:30 には、郡山情報ビジネス専門学校(福島県郡山市駅前 1-12-2)にて、リハーサル等最終の準備を実施いたしますので、そちらもご取材頂けますと幸いです。

ふくしま復興塾は、福島復興の「志」と福島未来を切り拓く「覚悟」を持つ主に 20,30 代の若者が集い、福島の現状や課題と向き合うことで、福島復興を実現し日本や世界の新しい未来を生み出していくリーダー育成のためのプログラムです。今回の最終発表会では、初年度の塾生が立案した福島復興のためのプロジェクトを発表致します。

今回の復興塾では、福島在住者だけでなく、福島復興に強い関心を持つ県外の在住者も合わせた約 25 人で学んできました。8 月には、ウクライナ・チェルノブイリ原発への現地フィールドワークを行い、福島の歴史的な文脈について学んできました。また、9 月以降、多くの塾生が学業や本業がある中で、週末や仕事帰りの時間を利用して福島復興のプロジェクト立案に真剣に取り組んできました。

今回発表するプロジェクトは、こうした 1 年近くにわたる塾生たちの努力の成果です。今年度のふくしま復興塾終了後には、自分たちで事業を立ち上げるなど、具体的に復興の取り組みを進めて行きます。

最終発表会概要

日時	2013 年 12 月 14 日(土) 13:00～17:00
場所	郡山市市民交流プラザ大会議室 (福島県郡山市駅前 2-11-1 ビッグアイ 7 階)
主催	ふくしま復興塾実行委員会 (事務局: 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター)
参加予定者	ふくしま復興塾関係者(福島大学・発起人・受講生等) 来賓(キリン株式会社様・郡山市長等)

当日のタイムライン(予定)

13:00～13:15	主催者・来賓挨拶	福島大学うつくしまふくしま未来支援センター長他
13:15～14:05	基調講演	
14:20～15:30	プロジェクト発表	受講生代表 5 チームによる、全体でのプロジェクト発表
15:30～15:50	講評	郡山市長他
16:00～16:50	ポスター発表	受講生全チームによる、ブース形式でのポスター発表
16:50～17:00	修了証授与・閉会	

リハーサル概要

日時	2013 年 12 月 7 日 13:00～17:30
場所	郡山情報ビジネス専門学校 (福島県郡山市駅前 1-12-2)
内容	最終発表会に向けたリハーサル・フィードバック 最終発表会の準備

ご取材に関するお問い合わせ先:

ふくしま復興塾実行委員会 事務局 担当: 佐藤

TEL 070-5478-7881(直通) / 024-504-2865

FAX 024-504-2865

ふくしま復興塾 HP: <http://fukushima-fj.com/>

ふくしま復興塾の概要等は以下をご覧ください。

■ふくしま復興塾概要

今、福島は歴史的な転換点を迎えています。福島が抱える問題は少子高齢化や過疎化問題、エネルギー問題といった、これからの人類の未来を考えていく上で向き合わなければならない問題です。つまり、福島だけではなく日本や世界にとっても新しい時代へ移行するための転機であると言えるのではないのでしょうか。

このプロジェクトは、福島復興の「志」と福島の未来を切り拓く「覚悟」を持つ若ものが集い、福島の現状や課題と向き合うことで、福島の復興を実現し日本や世界の新しい未来を生み出していくリーダー育成のためのプログラムです。

福島で未来を創り出そうと考えている若者が、福島県内外を飛び回り、福島の現状、そして未来に起こりうることと本気で向き合っていきます。加えて、復興の現場や世界で活躍する経営者や行政職員をメンターに迎えることで、ビジネスと政策の観点から福島復興を実現するための具体的なアウトプットを生み出すことを目指します。

■主催団体

ふくしま復興塾実行委員会

福島にゆかりのある経営者を中心とした発起人の呼びかけのもと、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター内に事務局を設置し、福島復興を担う人材育成プロジェクトが発足しました。本プロジェクトの運営主体となる事務局と発起人で「ふくしま復興塾実行委員会」を構成しています。

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

福島大学が現有する環境関連分野、地域政策・産業関連、教育・心理学関連などの分野に、新たに産業復興関連、放射線関連、エネルギー関連分野の専門家等を加えた、大学付置の支援センター。大地震・津波及び原発事故による災害の実態を調査・研究し、それら成果を元に福島県や関係自治体等とも協力しながら、新しい地域づくりのビジョンと方途を提案する役割を担い活動します。「ふくしま復興塾」の事務局の役割を持ちます。

■発起人（所属 50 音順）

山田純(クアルコム特別顧問)
木幡仁一(木幡仁一税理士事務所代表取締役税理士)
佐藤俊和(ジョルダン株式会社代表取締役社長)
高橋仁(株式会社ジンコーポレーション代表取締役社長)
上昌広(東京大学医科学研究所特任教授)
佐藤恵一(東和株式会社代表取締役社長)
池田弘(学校法人新潟総合学園総長)
井上健(日本電設工業株式会社取締役会長)
矢内廣(びあ株式会社代表取締役社長)
加藤博敏(株式会社ピーエイ代表取締役社長)
丹波史紀(福島大学准教授)

■協力



キリングroupは、東日本大震災復興支援に継続的に取り組むべく、3年間で約60億円を拠出することを決め、「復興応援 キリン絆プロジェクト」として、「絆を育む」をテーマに「地域食文化・食産業の復興支援」「子供の笑顔づくり支援」「心と体の元気サポート」の3つの幹でグループ各社が一体となって復興支援活動を展開しています。この活動を通じて産業が活性化し、将来に希望を持つ子供たちが増えてコミュニティに元気が広がり、地域全体が活性化していくことを願っています。



■寄附によるご支援のお願い

「ふくしま復興塾」では、受講者から授業料をいただきません(プログラムの資料代等として約2万円を徴収しています)。修了生が学んだ成果を恩恵と自覚し、自らの意思で福島に還元することにより未来への貢献を果たすことを期待しているからです。

福島復興への志と未来を担う覚悟を持った受講生たちが、多大な経済的負担なく、自らの可能性を最大限に発揮できる環境を整備するために、福島県内外から広く支援を受けながら運営していく塾を目指します。運営資金の寄附にご協力してくださる方は、下記のURLより寄附をすることが可能です。

<http://fukushima-fj.com/kifu>